

ヘッダレスパケット送信モード（通信モード 5）

1. システム構成

宛先を予め設定することで、パケット送信モード（通信モード 3）で必要だったコマンドを不要にしたモードです。通信結果のレスポンスを返さないのので、送信側で通信成功/失敗は判断できません。送信側では、設定したターミネータコードを検出すると、無線送信を開始します。基本的には 1:1 通信ですが、コマンドにより宛先を変更することができます。



2. スイッチ設定

ディップスイッチは、SW No. 8 のみ ON、ロータリースイッチは、「0」にします。

3. レジスタ設定

パソコンと無線機を RS232C ストレートケーブルで接続して、Futaba Term などのターミナルソフトを使い、REG コマンドでレジスタを設定します。

【モデム 1】	
REG00:00H	(アドレス 0)
REG01:FOH	
REG02:01H	(宛先アドレス 1)
REG03:01H	
REG04:00H	
REG05:00H	
REG06:00H	(周波数ホッピングパターン 0)
REG07:05H	
REG08:11H	
REG09:13H	
REG10:40H	
REG11:32H	
REG12:B4H	
REG13:1EH	
REG14:00H	
REG15:00H	
REG16:32H	
REG17:32H	
REG18:CDH	(ヘッダレスパケット送信モード、宛先アドレスチェックを行う)
REG19:40H	(マスター局、ダイバシティ受信を行う)
REG20:07H	(RS232C: 38400bps, 8bit, パリティなし 1stop bit)
REG21:09H	(ソフトウェアフロー制御あり)
REG22:00H	
REG23:00H	
REG24:00H	(ターミネータ: キャリッジリターン [C_R] + ラインフィード [L_F])
REG25:0DH	
REG26:0AH	
REG27:00H	
REG28:00H	(データ入カタイムアウトしない)
REG29:00H	
REG30:00H	
REG31:00H	

【モデム 2】	
REG00:01H	(アドレス 1)
REG01:FOH	
REG02:00H	(宛先アドレス 0)
REG03:01H	
REG04:00H	
REG05:00H	
REG06:00H	(モデム 1 同様)
REG07:05H	
REG08:11H	
REG09:13H	
REG10:40H	
REG11:32H	
REG12:B4H	
REG13:1EH	
REG14:00H	
REG15:00H	
REG16:32H	
REG17:32H	
REG18:CDH	(モデム 1 同様)
REG19:42H	(スレーブ局)
REG20:07H	(モデム 1 同様)
REG21:09H	(モデム 1 同様)
REG22:00H	
REG23:00H	
REG24:00H	(モデム 1 同様)
REG25:0DH	
REG26:0AH	
REG27:00H	
REG28:00H	(モデム 1 同様)
REG29:00H	
REG30:00H	
REG31:00H	

《注意事項》

- レジスタを設定する前に、無線機を初期化することをお薦めします。
- レジスタ設定を反映させるには、@RST コマンド、又は電源再投入を行ってください。
- シリアルポードを変更した場合、PC ターミナルソフトのポード、パリティ、スタート/ストップビットを設定した値に合わせてください。
- ターミネータコードは、REG24bit0、bit1 と、REG25、REG26 で設定します。
- データ入力タイムアウト時間 (REG28) を 0 以外に設定すると、送信トリガはデータ入力タイムアウトになり、ターミネータコードを入力しても送信されません。

4. 通信手順

(1) モデム 1 から、モデム 2 への通信

[モデム 1]> HELLO[^C_R][^L_F][モデム 2]< HELLO[^C_R][^L_F]

(2) モデム 1 から、アドレス 3 のモデムへの通信

[親機]> @DAS003[^C_R][^L_F]< PO[^C_R][^L_F]> HELLO[^C_R][^L_F][アドレス 3 子機]< HELLO[^C_R][^L_F]

《注意事項》

- LED は非通信時にスレーブ局の PW が橙点灯で、それ以外全て赤点灯になります。送信時に CO が緑点灯して、通信が完了すると赤点灯に戻ります。
- 通信レスポンスが無い場合、通信の成功/失敗は送信側で判断できません。お客様のアプリケーションにて、対応をお願いします。また、バッファオーバーフローにより、データ損失する恐れがあるため、フロー制御ありで使用してください。(REG21)
- 宛先は REG02 で設定したアドレスの局になりますが、@DAS コマンドで切り替えることも可能です。
- ユニキャスト送信時は、宛先局からの ACK が返れば、その時点で再送は終了します。
- REG02 を FFH に設定すると、ブロードキャスト送信になります。このときの送信は、設定した再送回数+1 分送信します。
- コマンドヘッダをデータとして送信したい場合は、コマンド認識インターバル (REG15) を設定する必要があります。詳細については、取扱説明書をご参照ください。